

愛知県立大学日本文化学部国語国文学科伊藤伸江教授の共著

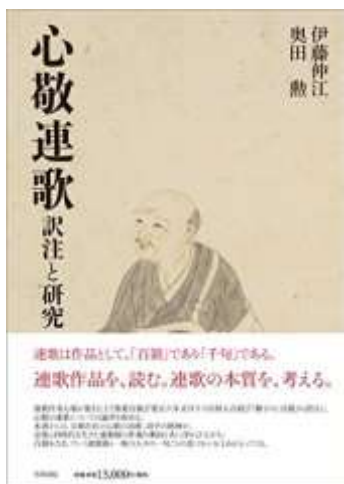
『心敬連歌 訳注と研究』が、文部科学大臣賞を受賞

日本文化学部国語国文学科伊藤伸江教授が、奥田勲教授（聖心女子大学名誉教授）と共著で発行された『心敬連歌 訳注と研究』（笠間書院、2015年10月）が、平成28年度文部科学大臣賞を受賞しました。

この賞は、毎年10月12日(芭蕉の命日)挙行政の芭蕉祭において、松尾芭蕉顕彰事業の一環として、連歌、俳諧、俳句などの俳文学関係著書の中から優秀研究著書に対して、文部科学大臣賞を授与するものです。

文学研究の基礎である作品の解釈において、その困難さが最も想定される連歌という分野で、その分野を代表する心敬という人物の作品の読解に根気よく取り組み、それを基に論を立てるといふ研究のあるべき方向を示したという点で、今後の連歌研究の指針たり得る著書として高く評価されました。

なお本年10月11-12日に開催される「芭蕉祭」において、記念講演会及び表彰状と副賞の授与が行われます。



<著書 概要>

心敬の文学作品(連歌、連歌論、和歌)に対し、心敬の家集・歌論・連歌論研究に継続してとりくんでいる伊藤と、『新撰菟玖波集』の全釈を編者として完成させた奥田が、それぞれの視点からの問題意識を提供し、心敬の文学的な創造・達成の状況を明らかにし、新撰菟玖波文学圏への影響の度合をも分析するためにとりくむものである。

<受賞者略歴>

伊藤伸江：愛知県立大学日本文化学部国語国文学科教授

奥田勲：聖心女子大学名誉教授

<URL><http://ito-okuda-kaken.jimdo.com/>

主催：公益財団法人芭蕉翁顕彰会、伊賀市

<URL><http://www.city.iga.lg.jp/ctg/56131/56131.html>